

第24回 全国街路事業コンクール

# 全国街路事業促進協議会会長賞

長崎県 長崎振興局 建設部

都市計画道路 浦上川線整備事業

都市名 長崎市 事業主体 長崎県

事業概要

浦上川線は、被爆地長崎のシンボルである平和公園付近を起点とし、浦上川左岸沿いに陸の玄関口であるJR長崎駅の西側を通過し、終点は海の玄関口となっている長崎港大波止、松ヶ枝国際埠頭、さらには鎖国時代にわが国で唯一、西洋との窓口であった出島地区付近に至る幹線道路である。

本事業は、長崎中心部の南北交通の幹線軸である国道202号、206号の慢性的な交通渋滞の緩和と、地域高規格道路長崎南北幹線道路の一部として地域間の交流促進、連携強化を図るものである。

本事業により、国道202号、206号の交通負荷が軽減され、渋滞が緩和された。更に抜け道となっていた周辺道路も浦上川線や国道に転換し、通学路の安全性も向上している。港周辺では、歩道空間を高質化し、都市景観の向上に寄与している。

○事業延長：3,250mm

○幅員：16.5m～40.0m、4車線及び6車線（緩速車線を含む）

○事業費：約676億円

○事業期間：昭和50年度～平成22年度

表彰理由

港湾施設と一体化した歩道の整備により都市景観が向上し、快適な歩行空間が確保されたことについて高く評価された。また、大規模物件の移転補償を回避し、河川への張り出し幅を抑えるために採用したダブルデッキ構造の高架橋についての評価も高かった。事業効果として、国道202号線、206号線の交通渋滞が緩和され、所要時間の大幅な短縮に寄与したことも評価された。

ゆとりのある歩行空間



周辺環境に配慮した高架橋（ダブルデッキ構造）



従前の状況

